



風船かずら ~ 花言葉「一緒に飛びたい！」~

事業所訪問③

ファーム海女乃島

9月6日、中野代表理事、小川就農コーディネーター、中西ジョブトレーナーと4名で訪問させていただき、代表取締役西川信子社長からお話を伺いました。海女乃島は風光明媚な鳥羽湾を臨むホテルとして有名ですが、ファーム海女乃島は昨年A型事業所として認可されたばかりで、現在8名の障がい者（内3名が中部水耕専門学校卒業生）の方が働いてみえます。ハウス内に「テントウムシ」を放し農薬を使わず、アクアドリム方式による水耕栽培で野菜の種類は40種に及びます。ハウスに入るとまずバジルの香りに満たされます。毎日のpH測定も障がい者の方が計測しノートに記載されています。収穫した野菜は、最近開設された直売所と伊勢の市場や道の駅「蘇民」、学校給食等に販売されています。また今年4月から楽天市場でインターネットによる販売も始められ、県外の事業所や個人の方からの注文も多数届いているとのことでした。県内の事業所の方々にネット販売に関心のある方は問い合わせられたらいかがでしょうか。事務所として使ってみえる部屋はかつてホテル従業員の女子寮だった建物の一部屋だそうです。パクチーを使った新商品の開発にも取り組み中で、現在300坪程のハウスをあと500坪程増やしたいという社長の意気込みもお聞かせいただきました。野菜の種の販売もされていて、「からし菜」の種をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。



詳しくは「ファーム海女乃島」のHPをご覧ください。

(事務局長 森山)



《すき焼き》

明治維新とともに、日本人も牛馬の肉を食べるようになった。各地に屠場ができて、常食できるようになったのだが、それ以前は、煮る匂いが近隣に知られるのをいやがり、納屋や物置の隅で、農耕に使う鋤の刃先で焼いたり煮たりして食べていた。それが「鋤焼き」の語源である。

鎌田慧著「ドキュメント 水平をもとめて」より

ご存知でした？

三重県障がい者就農促進協議会
〒514-0003
三重県津市桜橋2丁目142
三重県教育文化会館1F
TEL059-253-4187 fax059-253-3359
E-mail mieshuno@dune.ocn.ne.jp
HP <http://mieshuno.net/>